

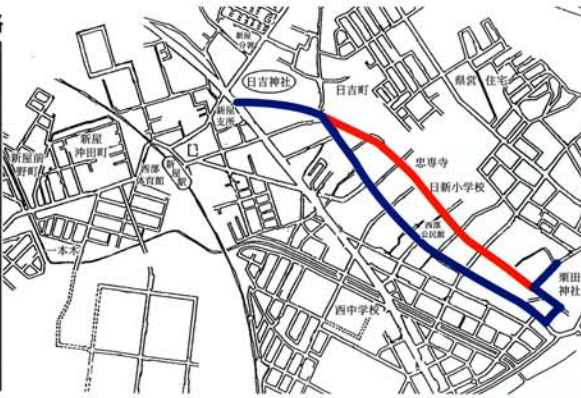
5月25日(金)御差鉾御巡幸順路

(往路) 日吉神社→表町→加藤仕出店→栗田神社バス停→佐々木宅左折→佐々銀宅左折→相原宅右折→御神宿

(復路) 御神宿→大塚魚店右折→忠専寺→神社御還御

ご巡幸予定時間

18時30分 神事開始
 19時20分 神社出発
 20時00分 御神宿到着
 20時50分 御神宿出発
 21時20分 神社御還御



5月26日(土)例大祭御巡幸順路

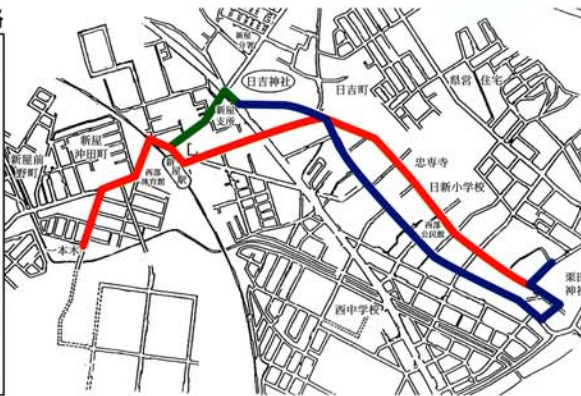
(往路) 日吉神社→表町→加藤仕出店→栗田神社バス停→佐々木宅左折→佐々銀宅左折→相原宅右折→御神宿

(復路) 御神宿→大塚魚店右折→忠専寺→関町通→7号線横断→新屋駅→豊岩踏切→一本木

(復路) 一本木→豊岩踏切→ナイス→神社御還御

ご巡幸予定時間

10時00分 神事開始
 10時50分 神社出発
 11時50分 御神宿到着
 12時50分 御神宿出発
 14時20分 一本木到着
 14時50分 一本木出発
 15時30分 神社御還御



統前町 緑町
 頭人 小島 初男氏

副頭人 小島 伸樹氏
 祭典委員長 田中 竹通氏
 祭典実行委員長 工藤 正之氏
 佐々木鉄夫氏

平成十九年 山王祭



平成19年

発行 日吉神社
 住所 秋田市新屋
 日吉町10-67
 電話 018-828-3033

町内対抗あらやばやしコンクール

- 「平成十八年度標語コンクール全賞作品」
- 四年生 うけごころ ぼくたちの手で かしまさん
 - 五年生 おもりの川 夏の夜空にきらきらと 星のようにまいる花火 四組 庄司 菜さん
 - 六年生 鹿嶋船 つなひく子供 光るあせ 青空の下 ひびく かけ声 二組 佐々木 美 優さん
 - 中学校二年生 我町の 長寿のひけつは わき水だ 目指せ 長生き 新屋町 三組 石川 愛さん
- ※学年・クラスは昨年のものです。

山王祭では、日吉神社の御神位が、神輿に担がれて巡り歩きます。お祭りでは若があつた、ご神威のもつた祭典霊符をお配りしますので、この袋に初穂料を入れお供の人にお渡し下さい。袋は神社に用意しております。



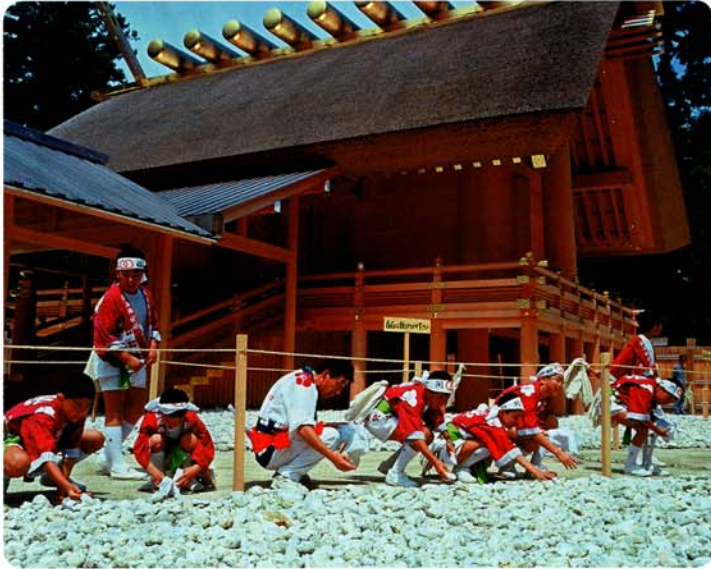
結果になりました。終わってみれば「面白かったね。」で、終わる催しですが、曲を作ってくれた佐々木功さんには、これを作り上げるまでに、一年前の夏から、何度も神社に足を運んで貰いました。当日の司会をお務めいただいた、渡金商店の社長の渡辺覚さんには、軽妙な司会と仕切で、大変スムーズ且つ楽しく進行して貰いましたし、審査員をお願いした、当時の新屋支所長船木重保さん。日新小学校の伊藤校長先生。櫻谷校長先生が野球の招待大会の為、

代理をお務め下さった西中学校の石川弥生先生。民謡の梅若梅貢さん。そして神社の責任総代の黒丸幹夫さん。皆さんには皆目見当もつかないお囃子に、点数をつけるという難儀な仕事をお願いしました。こんなに多くの人達の手を借りて、漸く産声を上げた、「あらやばやし」でしたが、お陰様で、初めての催しとしてはうまく行った方ではないかと考えております。この催しの本当の目的は、「新屋」と言ったら、すぐ浮かんでくるメロディを将来に残す事です。たくさんの人に演奏して貰い、聞いて、楽しんで貰って、育てていただきたいと思っております。今年のコンクールを、別記の要領で行いますので、是非奮ってご参加下さい。

第2回町内対抗

あらやばやしコンクール
 日時 五月二十五日(金) 四時半
 要項 1チーム五人編成(笛1、大太鼓1、小太鼓3)
 演奏時間5分以内
 賞金、参加賞あり

伊勢神宮 お白石持ち行事 (写真提供: 神宮司庁)



新築なった御正宮 (写真中央の建物) の周囲に、「神領地」伊勢市内を流れる宮川の川原から伊勢市民が拾い貯めていた「お白石」を敷き詰める行事。このときだけは御正宮の間近迄行くことができます。(一日神領民として参加することもできます)

第62回

伊勢神宮 式年遷宮奉賛事業

ドイツの著名な建築家である、ブルーノ・タウトが桂離宮と並んで「永遠なるもの」と絶賛した伊勢神宮は、御神威の更新の為、二十年に一度、神様に新しいお社にお遷りいただく、御遷宮というお祭りを行います。

このお祭りにあたり、伊勢神宮の内宮外宮を始め一二五のお社全部を建て替え、宝飾や太刀、装束などを全て新しくします。

千三百年の歴史を持つこの行事は、前回は平成五年に行われ、平成二十五年に第六十二回の御遷宮が行われます。そのお祭りに向けて、新しい建物の建築の準備が進められていますが、この行事に対する奉賛事業が昨年平成十

八年から始まっています。費用の総額五百五十億円のうちの二百二十億を財界と全国神社を通じて国民各層からの御奉賛によって完遂する計画になっております。

二百二十億円のうちの財界からの協力が七十五億円、全国神社の奉賛が百四十五億円という割り振りになっております。

今年から一般の募財も始められました。日吉神社でも御奉賛の受付をいたしております。

日本の大切な文化を伝える為、何卒御心をお寄せ下さいませようお願い申し上げます。

新緑のまつりの主役になってみませんか？



神輿担ぎ手を募集しています。

- 日時 5月26日(土) 午前9時
- 集合場所 日吉社会館
- 申込先 戸来(へらい)まで
- 電話 090-878-1886
- 申込締切日 5月15日
- 裨同等賞与します。

平成19年 年祝会

平成十九年度の年祝祭が、四月二十九日、しだれ桜も咲き始める中、賑々しく執り行われました。

今年、88才七名、77才十四名、61才八十四名、42才三十四名、33才二名の総勢一四一名の参列となりました。

この年祝祭は、学年毎の同期生同士だけではなく、地域の先輩、後輩を42才の方々が取り持つ一つの祭事を行うという、他所には無い、新屋の地域性を示す、独特な行事で大正十五年から既に八十年以上の歴史ある行事です。本年の役員の方皆さんを御紹介します。

- | | | |
|------|------|------|
| 幹事 | 幹事 | 副会長 |
| 赤根 藤 | 相原 久 | 石田 隆 |
| 大塚 芳 | 高島 和 | 金子 英 |
| 佐藤 誠 | 昇朝 一 | 明裕 明 |

岩木山神社参拝と、十和田八甲田紅葉の旅

暫く休んでおりましたが、この度新たに日吉敬神会を母体とした旅行会として、下記の日程で行う事になりました。

岩木山神社は、古くより北方鎮護の神社として崇敬篤い、格式の高い神社です。津軽富士と称される岩木山の山容を眺めた後、酸ヶ湯に漬かり、翌日は、八甲田、十和田を巡って帰る一泊二日の旅です。どうぞ奮ってご参加下さい。

参加費 30,000円

期間(曜)	行程
① 10/14 (日)	新屋 ___ 秋田北IC ___ 能代南IC ___ 八森 ___ 岩木山神社 ___ 酸ヶ湯温泉(泊)
② 10/15 (月)	酸ヶ湯温泉 ___ 八甲田ロープウェイ口 ___ (食) ___ (入館 拝観費) 子ノ口 ___ 休屋 ___ 秋田北IC ___ 新屋

※人数に制限がありますのでお早めにお申込み下さい。

本年の奉納品として、大鳥居の前に、大蔵を立てる台を上げていただく事になっております。

- | | |
|------|-------|
| 幹事 | 伊藤 英明 |
| 会計監査 | 佐藤 智明 |

各団体の御案内

神社には、それぞれの仲間をつくっている団体があります。どの団体も、地域に愛着をもっている人達の集いの場となっております、どなたでも御参加できますので、今回は二つの団体を紹介いたします。

●日吉敬神会

日吉神社のご縁日にあたる、毎月二十六日(五月・十一月はお休み)午後六時から神社で月次祭を行ったあと、会館で直会(なおりい)をする。直会に先立ち会員から一人、町への思いを話題提供として十分程度のお話をして貰う。

会費は、連絡費が年会費として千円、当月参加できる方には千五百円の会費をいただく事になっている。

●日吉敬神婦人講

春・秋の年二回、町内の婦人の集う会。祭典の日には、神楽を奉納する外、会員全員にお礼と、お下がりの饅頭などが渡される。祭典終了後、宮司の講話を聞いたあと町内毎に昼食を摂り、午後のひととき、懐かしい歌を唱ったりして、楽しく過ごす。会費はお祭り毎に一人五百円を捻出して貰う事になっている。